

ChromeOS デバイスの ゼロタッチ登録

ゼロタッチ登録では、IT 部門がエンドユーザーに ChromeOS デバイスを支給し、エンドユーザーがインターネットに接続すると、直ちにデバイスが企業管理下のものとして自動的に登録されます。



デバイスを箱から取り出し
てすぐに準備完了

エンドユーザーは、デバイスを受け取り、インターネットに接続してログインするだけで、デバイスを使い始めることができます。



手動で設定する手間が不要

エンドユーザーが ChromeOS デバイスを手にすると、ゼロタッチ登録によってデバイスが自動的に登録されます。IT 部門やエンドユーザーは、デバイスを手動で登録する必要がありません。



セキュリティを念頭に置いた設計

ハードウェア保護された証明書によってデバイスの識別情報が保護され、なりすまし攻撃を防止します。



ゼロタッチ登録の流れ



1. ChromeOS デバイスを購入

まず、お客様がゼロタッチ登録に対応する ChromeOS デバイスを購入し、認定サービスパートナーにゼロタッチ登録の事前プロビジョニングを依頼します。



2. 事前プロビジョニング

トークンを生成

次に、IT 管理者が Google 管理コンソールで事前プロビジョニングトークンを生成し、サービスパートナーと共有します。



3. パートナーがデバイスを Google に登録

サービスパートナーがデバイスを Google に登録します。この段階で、デバイスは事前プロビジョニングされた状態になり、IT 管理者はそれを Google 管理コンソールで確認できます。



4. デバイスをユーザーに出荷

サービスパートナーが事前プロビジョニング済みのデバイスをエンドユーザーに直接送付します。



6. Google がデバイスの識別情報を確認

ゼロタッチ登録はセキュリティを念頭に置いて設計されており、Titan C セキュリティチップを活用して、Google によるデバイス識別情報の確認をサポートしています。これにより、登録プロセス中のなりすまし攻撃を防止します。



5. ユーザーがデバイスの電源を投入

ユーザーがデバイスの電源をオンにして、Wi-Fi に接続します。デバイスが Google と通信し、ゼロタッチ登録が必要かどうか判定されます。

ログイン →

7. ユーザーがログイン可能

識別情報の確認が完了したデバイスは自動的にお客様のドメインに登録され、ポリシーが適用されて、ユーザーがログインできるようになります。

ChromeOS のゼロタッチ登録の詳細およびサポート対象のデバイスについては、[ヘルプセンターの記事](#)をご覧ください。

ご不明な点は、TD SYNnex 相談窓口までご相談ください。

jp_chrome@tdsynnex.com